

## 令和 5 年度第 3 回 広川町総合計画審議会 書面会議に係る意見

## (1) まちづくりの基本理念について (資料 1 の 2 3 ページ)

新町長の施策方針及び 6 月に行った町長インタビューを基に作成しております。  
内容等にご意見等があれば記載をお願いします。

・特になし 1 2 名

・意見等

- ・プラス(遊)もいいが、必ず「誰かと結びついている、助け合う」の意味を込めた(結)もあります。暮らしの基調「地域共生社会形成」を表す。
- ・副町長を置かず、違う形での必要な人を配置していく考えはとても良いと思いました。
- ・広川町の地域性・特性を活かしたまちづくり
- ・暮らしやすさや定住意向については、将来世代が代わり高齢者増加に合わせ、障害者や介護者も多くなると考えられ、優先的に取り組む対応が必要と考えます。また各世代への定住意向への対策が必要となると思います。

## (2) 広川町の将来像について (資料 1 の 2 4 ページ)

広川町の 8 年後の将来像として、町民アンケートに基づき、案をいくつか作成しております。どれがいいか選んでいただくか、案に対する意見等、また他に案があれば記載をお願いします。

- ・ 「自然の恵み」と「人々のつながり」が融合する、住み続けたくなるまち 6 票
- ・ 豊かな自然と利便性が備わった、みんなの暮らしにちょうどよいまち 2 票
- ・ 幸せな日常と肥沃で豊かな自然、藍の深い歴史を感じられるまち 0 票
- ・ 自慢のフルーツと人々が奏でる、個性輝く魅力的なまち 2 票
- ・ 世代を超えて住み心地の良い、温もりと笑顔がほころぶまち 5 票
- ・ 暮らしにプラスワン、ほっこりやすらぐ大好きな場所 0 票
- ・ 広川町で、心地よく暮らす。 1 票
- ・ 心地よい毎日、幸せが動きだす 広川 0 票
- ・ 暮らす楽しさを目で見ても肌で感じるまち 0 票

## 意見・案等

- ・「自然の恵み」と「人々のつながり」が融合する、住み続けたいまち



「続ける」となるとターゲットが限定されるので、住みたいまち

- ・豊かな自然と利便性が備わった、みんなの暮らしにちょうどよいまち



魅力あるまち

- ・町民みんなが参加、みんなで育む広川町
- ・心地よい毎日 暮らす楽しさを感じるまち

(参考) 現在(第4次計画改訂版での将来像)

みんなで作る未来 だれもが元気で笑顔に満ちたまち 広川

### (3) 施策体系について (資料1の38、39ページ、資料2、資料2-2)

今回、事務局としては、第3案マトリックス型体系(38、39ページ、資料2の2ページ)で作成しております。第1案から第3案までで、ご意見等があれば記載をお願いします。

- ・特になし 12名

- ・意見等

- ・「職」「住」「育」「遊」がもっと分かりやすく説明されているともっとよい。

### (5) その他全体的について

ご意見等があれば、記載をお願いします。

- ・子供たちが、10代、20代の若者が夢や希望が持てる町になっていけるといいなと思う。そうすると人口増加、明るく元気な人が増えてくると思う。
- ・子育てしやすいまちづくりとして、いつでも妊娠・出産が出来る環境を整えることで一つの安心材料になるのではないかと思う。
- ・解説が欲しい

P18「Society5.0」、P21「IoT」、P34「ウェルビーイング」等なじみが薄い

P15 点数化(算出方法)：学術的根拠が欲しい、納得できる根拠を示せ

表中基本施策総合は●ではなく○がわかりやすいのでは。

- ・ まちづくりの基本方針について （27ページから37ページ）  
ご意見等があれば、該当箇所へ記載をお願いします。

基本方針	意見・質問・要望等
1. 暮らし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ちょうどいい日常」という言葉がよくわかりません。「多くは望めないが…」という意味が含まれるとすると、少し残念に思う。</li> <li>・高齢化は間違いないことで、山間地の交通対策は必須だと思う。</li> <li>・小中学生が毎日安全に通学できるよう歩道を整備する。</li> <li>・住民の安眠を妨げるような騒音バイクの取り締まり</li> <li>・河川の定期的な整備（土砂や草木で川底が埋まり水害の原因となる建設機器を使い川底をさらいスムーズに流れるようにし、きれいな川で魚が見える広川でありたい）</li> <li>・都市基盤の地域公共交通の利便性について、もっと小回りのきく車だと細い道に入れる。今の在り方は、利用者目線ではない。</li> <li>・住環境について、公園の空間整備は大切。駐車場から道路を渡る公園は危ない。公園の遊具が少ない。子供が遊びたくなる遊具がほとんどない。夏の暑さで滑ることができない滑り台は、困る。NHK番組で、特別な樹脂を使用した遊具は、今まで一度も事故がないと言っていた。公園がすてきな空間だとそこに住む人々に余裕と優しさが生まれる気がする。</li> <li>・生活安全について、コスモスの前付近が自転車が走るスペースがなくとても危ない。中高生も走る所以对策をしてほしい。また自転車逆走する人が多く、危ない。</li> </ul>
2. 保健・医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康に関する支援体制の充実（プール、ジム等）</li> <li>・子育て支援 少子化対策として、2人目、3人目への子供への補助金の支給</li> <li>・社会福祉協議会の拡大、活動強化を</li> <li>・高齢者を抱えている家族は不安が多いので、町からどのような支援があるか発信してほしい。相談を待つのではなく、ある程度の年齢になったら、集団健診のように認知症レベルの検査をうけるよう促してほしい。家族に言われるより町に言われたほうがいいし、悪化する前に対処できるように。</li> </ul>

<p>3. 産業・地域経済</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林業</li> </ul> <p>①農地や用排水路は、農業者だけでは維持できない時代(地域でまもる時代)、②農地法の改正で誰でも農地が持てる時代(小農兼業者に農地の有効利用を託す立場・道の駅出荷の担い手育成の立場から)であり、施策の拡大が求められるのでは(表現が欲しい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地保全是地域共生社会形成の一環 有害鳥獣対策の充実の表現がほしい</li> <li>・荒廃園対策</li> <li>・観光農園、直売所(道の駅)の充実</li> <li>・イベントの時期のみならず、1年間を通じて広川町に観光客を呼び込むための商工業や観光業の充実を図る。そのためにも整備された美しいまちづくりを目指す。</li> <li>・道の駅構想が3号バイパス計画に合わせて出ているので、豊かな自然の恵みである自慢のフルーツ、伝統を融合できるすばらしい眺めの道の駅を考えてほしい</li> <li>・広川町工業団地の現状と今後の方向性</li> <li>・観光業について、オルレの設置はしないのですか。若しくはサイクリングコースを作るなど。また、もっとインスタやTikTokなどで発信をしないと紙での発信だと若い人の集客は難しい。観光・体験プログラムなどは、町民の10代20代の子を募集し、インスタ、YouTubeで拡散してもらおうなど。</li> <li>・新産業の育成雇用について、中高生、10代20代の子を対象にした創業塾も面白いかもしれない。</li> </ul>
<p>4. 環境保全</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広川町への観光客に対して 街並み景観を充実することは、また来たいと思わせる大きなPRになると思う。</li> <li>・循環型地域社会について、町民が個人レベルでやれること、目標にどこまで近づけるか具体的な情報がほしい。</li> </ul>

<p>5. 教育・文化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域・家庭・学校の連携強化施策の表現が弱い（公民館活動の充実等）</li> <li>・「学校教育」  国の学校指導要領など平準化された内容となっているように感じる。広川町として、もっと個性を出してもよいのではと思う。</li> <li>・上広川小学校を整備、活性化を図る。中広川小学校を分散</li> <li>・スポーツ 中学校や小学校の授業でも使えるような「町民プール」の建設</li> <li>・上・中・下広川小学校の中で、中広川に生徒数が集中する中での同等の教育方針、維持、確保を</li> <li>・地域の歴史・文化・芸術について、情報の発信を現代に即したやり方で宣伝したらいいと思う。</li> <li>・生涯学習について中卒や高校中退の子が、時間が立ち今やりたいことができているかもしれない時に、サポートできるような学習プログラムを提供してあげられたら、その子たちもよりよい仕事につけるかも。</li> </ul>
<p>6. 交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町外から移住してきた人が広川町のことが分かる場所、交流の場を充実する</li> <li>・外国人の暮らしやすいまちづくり</li> <li>・自由に交流できる施設等の増設とクラブ等への援助を</li> <li>・きびるの意味がわかりません。</li> <li>・地域間交流広場(センター)などのような常に人が集まりやすい空間があると、そこに行けばいろいろな情報が分かるような場所があるといいと思う。（黒川温泉の手形発行所のような）</li> </ul>
<p>7. 住民協働・行財政運営</p>	